



生徒総会～We can! We will!～光り輝く～

6月25日(火)に生徒総会を実施しました。生徒会役員の皆さん、議長団の皆さんは、資料の準備や提案内容の精査、当日の進行など、大野中学校をよりよくするために、みんなの先頭に立って頑張ってくれました。私は会議があったので、残念ながら総会を見ることができなかったのですが、先生方からは、活発な意見交換ができていたと聞きました。

生徒総会では、生徒会からの報告・提案や各学級から出された要望等について話し合います。大野中学校生徒会規約第19条にはこのように記載されています。「生徒総会における決議事項は、職員会議にはかり学校長の承認を得て実施する」。決議された以下の校則に関する内容は、今後職員会で可否について協議を行った後、生徒の皆さんへお知らせします。それまでは、現行の校則なので、間違えないようにしてください。

【生徒総会決議事項】

靴下の色は白のみでなく、黒も許可してほしい。

●「大野一心」NO.20で県中総体の出場選手を紹介しましたが、体操で出場する末永一華さん(1年)が記載されていませんでした。大変申し訳ありませんでした。

校長のひと一言⑨

本校の校則は今年度から頭髪における男女の区別を廃止しました。「男女とも、清潔で端正なものとし、特殊な髪型はしないこと」としました。また、長い髪の生徒については、「男女とも髪をくくって、髪が肩にかかるようであればゴムで結ぶ。ただし、後ろ側で1つか左右で2つに結ぶこと」としています。ただし、パーマ、染色、剃り込み、カールなどは許可していません。

私は人生で一度だけパーマをかけたことがあります。私が中学生・高校生の頃は、女子は松田聖子さんの髪型(「聖子ちゃんカット」)、男子は近藤真彦さんのウェーブがかった髪型が流行していました。私が進学した高校はパーマが禁止でしたので、高校を卒業して、すぐにパーマをかけに行きました。私は小さい頃から床屋で髪を切ってもらっていたので、美容室なるものに行ったのはこれが初めての経験でした。

友人に教えてもらった小洒落(こじゃれ)た店に入り、どぎまぎしながらも勇気を振り絞って「マッチ(近藤真彦さんの呼び名)のような髪型にしてください」とお願いをしました。美容師の方からは「はい。分かりました。マッチですね。」と軽く言われ、約1時間後仕上がった髪型を鏡を見て、私は目を見張りました。パンチパーマになった私がそこにいました。近藤真彦というよりは※清水健太郎でした。私の姿を見た友人は大爆笑。それ以来、私はパーマをかけたことはありません。

※清水健太郎：1970年代に「失恋レストラン」という曲で大ブレイクした歌手です。私の世代前後の方はご存じだと思います。健太郎カットで一世を風靡(ふうび)しました。